

やる気・集中力・記憶力の源 朝食

朝食は、その日一日を始めるためのウォームアップとして、とても大切な役割をもっています。朝食を食べずに活動を始めると、体も脳も栄養不足となり、集中できなかったり、いろいろなことがありました。

朝食には、睡眠中に下がった体温を上昇させ、脳にエネルギーを補給し、体が活動できる状態にする役割があります。

朝食欠食の原因と対策

★朝は食欲がない!!

- 夜遅く食事をとっている人 ➡ 眠っている間には胃腸も休んでいます。そのため、夜遅い食事をとった後に朝になると、朝になっても消化されないものが残り、胃がもたれてしまいます。寝る2~3時間前までに食事はすませておこう!

- 朝食の直前まで眠っている人 ➡ 起床直後はまだ体が目覚めていません。胃腸が動き出し、空腹感を覚えるのに充分な時間を考えて、早めに起床しましょう!

★朝起きられない!!

- 人間の体にはもともと、昼に活動して夜に眠るというリズムがあります。このリズムは約25時間周期ですが、朝に光を浴びることでリセットし、24時間周期をつくりています。寝ても起きて朝日を浴びることから始めましょう。

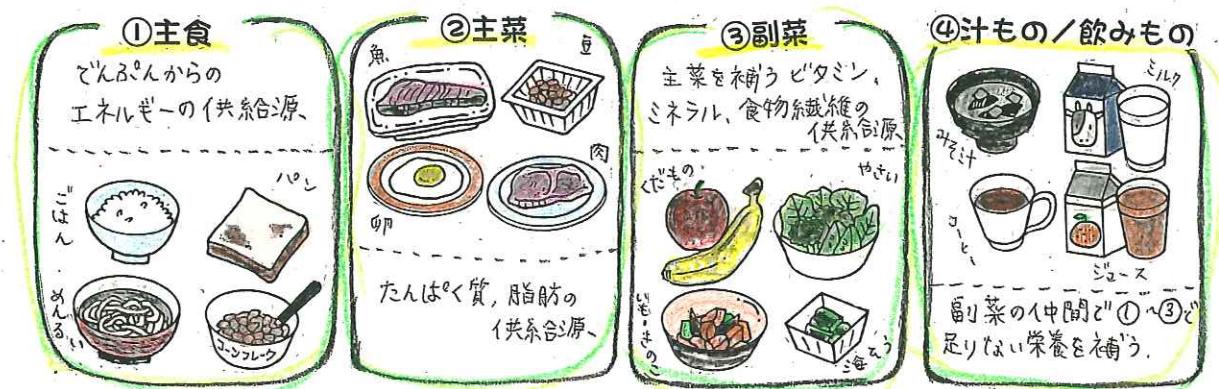
★ダイエットで朝食を抜いている!!

- 食事回数が減ると、体はより多く栄養を蓄えようとし、脂肪が分解されにくくなります。ですからダイエットのために朝食を抜くことは逆効果で、むしろ規則正しいバランスのとれた食事と適度な運動が効果的なのです。

参考 「しっかり食べよう朝食」、保健ニュース No.1386-II、No.1293付録 (株)少年等新聞社)

健康的な朝ごはん

バランスのよい献立の基本になるのが、主食・主菜・副菜・汁物(飲み物)です。家庭料理でもお弁当でも外食でも、この条件を満たしているかどうかを確認することで、簡単にチェックできるでしょう!!



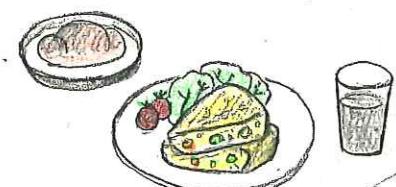
朝食を作ってみよう

スパニッシュオムレツ(1人分)

材料 卵…1.5個、じゃがいも…1/3個、たまねぎ 1/10個、ベーコン…1枚
パセリみじん切り…少々、植物油…大さじ1/2、フチトマト…2個、レタス…1枚

作り方

- ①じゃがいもは1センチ角に切り、電子レンジで蒸す。ベーコンは2センチ幅に切る。
- ②卵はほぐして塩、こしょうをする。
- ③フライパンに油をしく。
- ④タマネギを炒める。
- ⑤じゃがいも、ベーコン、パセリのみじん切りを入れる。
- ⑥溶いた卵を入れる。
- ⑦表面が半熟状になったら裏返し両面を焼く。
- ⑧皿に盛り、トマトとレタスを添える。



肩こり予防ストレッチ



①頭の後ろで両手指を組み、首すじをのばす。

休み時間や勉強の合間にやってみよう♪

同じ姿勢を長い時間続けていると、首や肩、背中の筋肉が張り、硬くなります。すると、そこを通る血液の流れが悪くなり、その結果、乳酸という疲労物質がたまり、痛みや不快感となり肩こりになります。

